



MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第6戦 ツインリンクもてぎ モリワキレーシング レースレポート

GP250クラス

#83 森脇 尚護選手 予選 1位 予選タイム: 1min53sec758



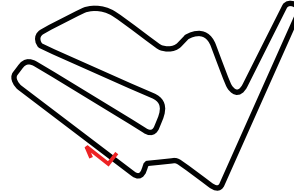
GP 250

森脇護総監督

「前回の岡山国際でのレースのデータを基に、新たに10号機を作って今回のレースに臨みました。残念ながら1週間前にこのツインリンクもてぎで行われたテストは台風の影響のためにドライコンディションで走ることができなかつたため、昨日のART合同テストでの走行が、このコースをスリックタイヤで走るのが初めてという状況になりました。10号機は新たなトライをしていることもあり、10号機用のスイングアームではなく、ドライのデータがある9号機のを組み合わせて使っています。昨日は1分54秒962というタイムでしたが、今日は53秒758まで詰めることができました。このコースで行われてるグランプリの250ccクラスのタイムと比較すると、現状のレベルで52秒台は出しておきたいところですから、明日はそこまで見えるレベルにマシンを仕上げたいと思っています。」

[CIRCUIT DATA]

TWIN RING MOTEGI



LENGTH	4,801m
STRAIGHT	762m
RIGHT TURNS	8
LEFT TURNS	6

森脇尚護

「ドライのデータがまったくない状況だったので、昨日はマシンバランスを取るという基本的なところから作業がスタートしました。ですのでタイム云々するレベルではなく、やっと今日の予選走行をして、少し方向性が見えてきたというところ。このマシンはコーナリングの中で、アクセルを開けていくところからが強力な武器だと感じています。その領域でのトラクション、グリップのフィーリング、マシンの向きが変わっていくところは、他のクラスのマシンにはないものです。その部分をさらに磨きをかけることができるようなセットアップをしていきたいのですが、まだまだその強力な武器を生かせていないというのが現状です。そうした状態なので、マシンのセットアップがさらに進めばどれくらいタイムが上がるかというのは、まったく予想ができません。岡山国際もこのコースも、まだまだ転倒するような領域まで攻め込んでいないので、秘めるポテンシャルはもっと高いところにあると思います。とにかく今は、タイムがどうかというレベルではなく、マシンの持っているレベルをもっと引き出せるよう、マシンとの対話をしながらの走行になっています。明日もさらにその対話をしながら、マシンのセットアップを進めたいと思います。」

